

# 応援の住民に恩返し

## 浪岡高 野球部員が除雪奉仕

浪岡高校野球部員が加。市社会福祉協議会  
22日、青森市浪岡地区 浪岡支部の職員とともに  
の1人暮らし高齢者宅に、同市浪岡相沢の左  
で除雪ボランティアを 藤直太郎さん(80)宅で  
行った。応援してくれ 除雪作業を行った。左  
る地域住民への恩返し 藤さんは体を壊してこ  
として毎年行ってお の冬は雪片付けでき  
り、部員らは試合同様 ず、家は1階屋根に届  
のチームワークで2日 ほどの雪に埋もれて  
ほども積もった雪を片 いた。  
付けた。  
1、2年生15人が参 部員らはスコップに  
よる掘り起こしと、ス ので、ありがたい」と  
感謝した。

折戸孝樹主将(2年) は「野球だけでなく、こつとして社会に貢献することが大人になって大事になる」と話し、唯一の女子部員山内未月さん(同)も「この人数でも大変なのだから、1人暮らしだともっと大変だと思つ。日ごろ付けてきた体力を使えるのでよかった」とすがすがしい笑顔を見せた。(鳴海学)



陸奥新報社提供

2月25日(火) 陸奥新報社

※この画像は、当該ページに限りて陸奥新報の記事利用を許諾したものです。転載ならびにこのページへのリンクは固くお断りします。

# 若い力で除雪奉仕

## 浪岡 高校 野球部15人が出勤

県立浪岡高校野球部の除雪ボランティアに  
(折戸孝樹主将)の15人 出勤。若い力で雪片付  
が22日、浪岡相沢地区 けをして喜ばれた。現  
の一人暮らし高齢者宅 地は2日ほどの積雪で

煙突が雪でふさがれる 危険があった。  
ボランティアに出た のは同野球部の女性マ  
ネージャーを含む1、 2年生15人。学校で青  
森市社会福祉協議会浪 岡支部職員から注意事  
項を聞いたあと、車に 分乗して約10分離れた  
相沢地区へ向かった。 ここで一人暮らしをし  
ている佐藤直太郎さん

(80)方の雪を片付ける ボランティアだ。  
地元の民生委員によ ると佐藤さんは、病氣  
で除雪作業ができなく なり家族も近くにいな  
いという。平屋の建物 の四方は降雪と屋根か  
ら落ちた雪で埋まり、 部分的に2日を超える  
積雪になっていた。  
高校生たちはヘルメツ トをかぶり、スポーツ

浪岡相沢地区で除雪ボランティア活動する 浪岡高校生



津軽新報社提供

マンらしくきびきびと した動き。15人が連携 して力強く雪山を崩し ては、スノーダンプで 崖下に雪を投げ入れ、 家のまわりをスッキリ させた。  
高校生たちは「自分 の家の屋根よりも雪が 多い」と驚きながら も、軽々と雪を運んで 頼もしさを見せていた

2月25日(火) 津軽新報社

※この画像は、当該ページに限りて津軽新報の記事利用を許諾したものです。転載ならびにこのページへのリンクは固くお断りします。